

KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

# キリン 紺 熊本だより

2018.June Vol.06



「世界一の九州をつくろう。」  
キリンビール熊本支社は、  
熊本の食・旅・人を  
応援しています。

キリンビール株式会社 熊本支社長 安武 直幸

熊本城は県民の誇りであり、熊本城の復旧は県民の願いです。その想いを『よみがえれ！熊本城』というメッセージに込めました。熊本城の復旧には、20年以上の永い年月がかかると言われていますが、石垣を積み上げるように少しづつですが、1歩1歩着実に進んでいます。その過程をしっかりととらえ、地元熊本の皆様と共に発信していきたいと思います。みんなで元気に乾杯し、盛り上げていきましょう！



しゃちほこ設置セレモニーにて  
藤本康祐 熊本鬼瓦代表、笹川順平 日本財団常務理事、  
大西一史 熊本市長、安武直幸 キリンビール熊本支社長  
※写真左より

キリングループでは、2011年4月の熊本地震発生以降、「復興応援キリン紺プロジェクト」熊本支援事業を展開。熊本市では、熊本城の復旧と中心市街地活性化支援に対して、継続的な支援を続けています。

そうした支援の一環として、「一番搾りよみがえれ！熊本城」

デザイン缶・びんを発売中です。  
缶・びんには、それぞれ熊本城としゃちほこをイラストで表現しており、缶は九州限定、びんは熊本限定で販売しています。

発売に先立ち、4月9日には、熊本城桜の馬場城彩苑「熊本城ミュージアムわくわく座」2階にて記者発表会を実施しました。

席上では、熊本地震の復興支援と一緒に取り組む日本財團の支援のもと進められた熊本城天守閣のしゃちほこ製作を担当した藤本鬼瓦代表で、鬼師の藤本康祐様があいさつ。製作当時の苦労について話をされたほか、「自分の作ったしゃちほこが、熊本城復旧のシンボルとしてラベルに描かれ、これほど嬉しいことはない」と謝辞を述べられました。

また、4月28日には、すでに設置されていた東側の1体に続き、復旧工事が進められている熊本城大天守西側に、しゃちほこを設置するセレモニーが多数の市民が見守る中、二の丸広場で開かれました。セレモニーには、大西一史熊本市長も臨席。あいさつでは、「しゃちほこの設置が、熊本の復興の節目に

き、復旧工事が進められている熊本城大天守西側に、しゃちほこを設置するセレモニーが多数の市民が見守る中、二の丸広場で開かれました。セレモニーには、大西一史熊本市長も臨席。あいさつでは、「しゃちほこの設置が完了した大天守最上階に掲げられた感謝のメッセージ

デザイントークが実施されました。また、4月28日には、すでに設置されていた東側の1体に続き、復旧工事が進められている熊本城大天守西側に、しゃちほこを設置するセレモニーが多数の市民が見守る中、二の丸広場で開かれました。セレモニーには、大西一史熊本市長も臨席。あいさつでは、「しゃちほこの設置が、熊本の復興の節目に



4月9日に行なった記者発表会の様子

なります。これを契機に熊本をさらに元気にし、復興に向けて邁進していきたい。」  
と改めて復興へ

今回の「一番搾りよみがえれ！熊本城」デザイン缶・びんのシンボルである熊本城のすばらしさを内外に発信していく

旅・人を応援し、日本全国や世界に発信する取り組みとして、「一番搾りよみがえれ！」のスローガンのもと、熊本ならではの食・

阿蘇の草原に乾杯！「デザイン缶・びん」などを発売。地元の元気を応援する活動を行ってきました。

「一番搾りよみがえれ！」のスローガンのもと、熊本ならではの食・

阿蘇の草原に

# キリングループは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

〈2018年1月～5月の取り組みをご紹介いたします。〉

## 熊本市・キリングループ・日本財団 「熊本地震からの復興の加速と 未来への礎となる担い手の育成」 に関する連携協定を締結

4/25



本協定は、3者が連携し、中心市街地に関する若手事業家などの人材育成やネットワーク構築などの事業活動を推進することで、中心市街地の持続的な発展に資することを目的とするものです。

「熊本城・城下町」「にぎわい・観光」「食・文化」の3つのテーマを柱に、3者が持つビジョン・資源・ノウハウなどを掛け合わせ、未来の熊本中心市街地を担う若手人材の育成やネットワーク構築の場「くまもと未来人材育成塾（仮称）」の設立をはじめ、その他、横断的な取り組みを検討・展開してまいります。

左から、大西一史 熊本市長、尾形武寿 日本財団理事長  
野村隆治 キリン㈱執行役員CSV戦略部長

## 甲佐町 食による復興協議会

2/25

### 甲佐のおいしいニラ料理を発信する 「甲佐ニラパワー EXPO 2018」を応援

熊本県の「郷土の食材開発モデル事業」。「ニラでつながる甲佐町元気プロジェクト」で甲佐町特産のニラを使った料理を一堂に味わえるイベントを開催。ニラが入ったメンチカツ「にらメンチ」やうどんなどの他、新開発のラー油「虎穴ニラ（茎）ずんば」と、麺にニラを練り込んだ「虎穴ニラずんばラーメン」もたいへん好評でした。



## くまもと・まち魅力向上協議会

2/23

### 熊本中心市街地の若手メンバーが取り組む 「くまもと・まち魅力向上プロジェクト」を応援

熊本の人々に「まち」と呼ばれ親しまれている中心市街地（新市街・下通り・上通り）の30～40代の若手メンバーが中心となって、「ひとそだて」「とこづくり」「ことおこし」「エアマネジメント」の4つの柱で活動を展開し、持続可能なプロジェクトしていくことを目指します。



3/3

### “まち”的新たな魅力を創造する「ことおこし」 「くまもと空中図書館“まちピチ”」を開催

中心市街地の下通アーケード内にある下通NSビル（COCOSA）5階のテラスを会場に開催。手作りの移動式本棚を設置、市立図書館から貸与された本が並べられ、訪れる親子連れなどが楽しそうに本を選び、談笑する姿が見られました。同図書館のボランティアによる紙芝居や読み聞かせも実施しました。



## 阿蘇山上・草千里観光推進復興グループ

4/5

### ～阿蘇火口から世界へ！～「歴史と文化素材を活かした 阿蘇カルチャーツーリズム構築プロジェクト」を応援

火山と文化を切り口とした新たなツーリズムの創出を目指し、阿蘇山の神祕性や歴史性、そこに育まれた阿蘇の人々の文化を、訪れる人に楽しく伝え、共感を得るツーリズムとして、男女の縁結びを唱える「写経ケ橋ツアーア」「阿蘇三十三ヶ所靈場巡りツアーア」「草千里プレミアムランチ」の開発などに取り組みます。



5/11

### 「阿蘇カルチャーツーリズム」 阿蘇山上・写経ケ橋 モニターツアーを開催

プロジェクトの第1弾として、行政関係者や旅行代理店など約30人を招いて阿蘇山上・写経ケ橋のモニターツアーを開催。阿蘇山西巖殿寺→阿蘇火山博物館→古坊中→西巖殿寺奥の院・写経ケ橋案内→阿蘇中岳火口というコースで実施。西巖殿寺鷲岡住職らと協働で、阿蘇山の歴史や文化の新しいツアーコースを目指します。



## 南阿蘇村環境保全農業推進協議会

3/23

### 南阿蘇村特産の「そば」と「あか牛」を使った 新商品「あそのみみのそばさんど」試食会を開催

南阿蘇村では、地震の影響で水稻の作付けができない農地の転換作物として、名産品でもある「そば」の振興が期待されています。若者にも喜ばれる新しいそばの加工品を目指し、東海大学農学部の協力で、「あか牛」と組み合わせたハンバーガー「あそのみみのそばさんど」が誕生。同大学学生による試食会を開催しました。



## Topics

### 4/28 熊本城 「復活！しゃちはこまつり」に協力

熊本のシンボル的存在であり、県民の心のよどごともいえる熊本城は、2019年秋に大天守外観の修復を終え、2021年春ごろには小天守を含む天守閣全体の復旧が完了する見通し。4月7日に、鮎(しゃちはこ)1体が大天守の東側に設置。28日には西側にもう1体が設置され、大西熊本市长らも出席して、この丸広場でセレモニーを開催。設置を一目ようと集まった市民らに見送られたしゃちはこは、クレーンを使い大天守最上階へ。設置が完了すると、「おうえん ありがとう」と書かれた幕が掲げられ、約1000個の風船が大空を舞いました。



### 3/21 「2018南阿蘇鉄道復興友好駅伝大会」に協力

「南郷谷はひとつ・南郷谷の大動脈の復活を願い！」のキャッチフレーズの下、高森駅（スタート）～中松駅（ゴール）間の各駅（5区間9km）を一本の襷でつなぐ大会には、両町村の小中学生や職場有志などの計18チームが参加。あいにくの雨にも関わらず、選手たちは「南阿蘇鉄道の早期復旧」の思いを込めて懸命の力走を見せ、南阿蘇村高森町連合チーム「MAR」が第1回大会を制しました。沿道からも大きな声援が送られ、復興へ向けて住民の一体感が高まるイベントとなりました。閉会式では、表彰を受けた上位3チームに賞品として「キリン 午後の紅茶」が贈されました。



### 4/8 阿蘇門前町商店街 「お座敷商店街」に協力

熊本地震から2度目の春を迎えた阿蘇市一の宮町の門前町商店街で、春の恒例行事となった「お座敷商店街」が開催。阿蘇神社のお膝元である門前町商店街の賑わいづくりを目的に実施されているもので、今年で8回目。熊本地震で楼門などが倒壊した阿蘇神社の復旧工事も徐々に進む中、商店街一帯のさらなる復興を願うとともに、震災後に取り組んでいる門前町商店街ブランド「ASO MONZEN」のPRも実施。熊本地震と九州北部豪雨災害復興記念グッズとして、門前町と朝倉市がコラボして作ったオリジナル木製トレーも販売されました。



### 4/15 阿蘇マウンテンバイクパーク オープニングイベント 開催！

阿蘇市では、サイクリングツーリズムの推進と、地域の活性化を目的に「阿蘇MTB（マウンテンバイク）パーク」をオープンする運びとなり、式典とイベントを開催。パーク内に完成した2つのコース（自力でペダルを漕がなくとも走行できる「パンプトラック」と、上級者向け「トライアルコース」）を使ったデモンストレーションを実施。阿蘇五岳を望む絶好のロケーションに作られた同施設は、誰もが無料で利用でき、地元の住民の皆様やマウンテンバイク好きの来訪者でにぎわい、地域の活性化につながることが期待されます。

